



せおと

平成23年12月12日 No.11 発行者 校長 岡崎紀子



撮影日 H23. 12. 9

十二月のうた

暑かった夏休みを終え、地域と家庭と学校が一体となった運動会、水泳記録会、ふれあい集会、街角の音楽会、チャレンジランキング大会・・・。一息入れる間もなく、もう2学期も10日余りです。時間の経つのは早いものですね。子どもたちの世界では、時間、月日はゆっくり過ぎると言われています。大人と子どもでは、同じ時間を共有していてもずいぶん異なるようです。しっかりと自分を見つめ直し、来る2012年には、新しい挑戦に向けた課題をつかんでほしいと思います。

ところで、季節は秋から冬に変わり、凜とした冬の澄み切った夜空にオリオン座がのぼるようになりました。早起きした日の朝方、静寂の中で光り輝く星空を見つめていると、右の茨木のり子さんの詩を思い出します。大切なものを落とさないようにしていきたいと思えます。(自戒を込めて)

十二月のうた

熊はもう眠りました
りすも うつらうつら
土も樹木も大きな休息に入りました
ふっと思いついたように声のない子守歌
それは粉雪、ぼたん雪
師も走る などと言って
人間だけが息つく暇もなく動き回り
忙しさと引き替えに
大切なものを
ぼとぼとと 落としていきます



茶道体験教室

12月6日のクラブ活動では茶道体験教室を行いました。講師は、表千家の志村貴美子さん、裏千家の深澤一正さんです。お二人とも茶道歴20年以上の方です。

茶道は日本固有の伝統的文化として受けつがれていますが、茶道の一番の目的は相手への思いやりを持つことだそうです。お茶をいただく時も次の人に「お先に」と軽く言い、言われた人も会釈しながら「どうぞ」と言います。勿論心を込めてお茶を点ててくださった方にも、きちんと挨拶をしていただきます。

今回は、和菓子とお抹茶のいただき方の作法と、お茶道具の名前を教えていただきました。次回は1月。今度は実際に二人一組でお茶を点てます！



3つのこと

「一陽来復(いちようらいふく)」とは、冬至を指します。中国の陽明学思想からきていて、「陽の気(よい運氣)が少なくなって、陰の気(よくない運氣)ばかりになりましたよ。その後、陽の気が復活して出てきてこれからどんどん増えますよ。」という意味です。昔の人は、冬至を境に日が長くなることから、太陽の光が復活すると考えたようです。今年の冬至は12月22日です。冬至にはカボチャを食べて、ゆず風呂に入ると風邪を引かないといわれています。カボチャの栄養成分の特徴は何と言ってもカロチンを多く含んでいることです。カロチンは、体内でビタミンAにかわって肌や粘膜を丈夫にし、感染症などに対する抵抗力をつけてくれます。また、ゆず湯に入ると肌がすべすべになり美肌効果があったり、冷え性にも効いたり体が温まって風邪を引かないともいわれています。2学期の終業式が冬至の日12月22日ですので、給食がありません。家庭で冬至の日にちなんだ食材を準備してはいかがでしょうか。

ところで、山梨県警察本部生活安全部少年課から発行される「少年」に、「3つのこと」という小見出し(平成22年12月)で次のことが掲載されていましたので、紹介します。

(前書き略)

非行のピークは、中学生や高校生で17歳頃までです。この時期が思春期で「親を否定して自分づくりをする時期」といわれています。この時期の様々な葛藤やストレスに対して、親がどのように対応するかによって家庭内暴力や非行の問題に発展してしまいます。思春期において、いい時も悪い時もしっかり話ができる親子関係を、それ以前からどのように築いていくかが問題です。

静岡英和学院大教授(元家庭裁判所調査官)の佐々木光郎氏は、長年の家裁調査官という経験の中で、非行少年たちの家庭環境や生育歴の研究から「次の3つのことをいっばい体験している子どもは、たとえ思春期になって非行があったとしても回復が早いしむしろ普通の子どもたち以上に立派な子どもになっている」と、言っています。

1つめは、「家族みんなが集まって、わいわい食事をする」です。非行少年の食事は孤食です。ひとりで時間に関係なく食べます。調査によると、野菜や果物はあまり食べず非常に偏った食事だそうです。食事の中身とともに親が温かいものをつくり、おしゃべりしながら一緒に食事をするのが大切だそうです。

2つめは、「幼児、小学生時に童話などの読み聞かせをする」です。子どもの将来に心温まるものが必ず残っています。こういった経験のある子どもたちは一時の間違いで悪いことをしても、すぐに立ち直って普通の生徒に戻っていきます。

3つめは、「家庭行事をおこなう」です。七夕やお盆などの四季折々の伝統的、文化的行事を家族とともに行うことは大切なことです。人間の力を超えたものへの願い、情操、畏敬の念などを小さい時から体験させておくことが大事です。

この3つのことは、子育てをしていく上で大切にしたい項目ですね。特に、これから迎える冬休みには、家族が集まる機会が多いので、3つのことに取り組んでみてはいかがでしょうか。



第2回CHUBU-CUPチャレンジランキング大会特集

2011. 11. 27



洗面器お手玉投げの説明



1分間ドリフルの説明

競技説明の担当は、中部小の児童です。
わかりやすい説明になるように伝え方を工夫しました。



200人分作りました

家庭科室前では豚汁の準備です。
肉のアクを取っています。



1分間じゃんけんの上位入賞者です。
優勝者は14枚のカードを獲得しました。



豆つまみ皿うつしに、子どもも大人も
何度も挑戦していました。
優勝者は、42個です。



洗面器お手玉投げの優勝者は200点です。
勢いよく投げたので洗面器のゴムテープがはがれて大変！
伊久磨くん、お疲れさま！



1分間ドリフルの優勝者は263回です。
数を数えるためのカウンターが大活躍！



大人気の1分間ドリフルです。
コツをつかんで何度も挑戦！



30秒間に足踏みを何回するかを競います。
足踏み日本一の優勝者は184回です。



優勝者一同 記念写真で～す。



温かい豚汁は大好評でした！
ゆず湯もりんごもおいしかったです。



各種目優勝者には
金メダルと認定証が送られました。



ベンチがあったので食べやすかったですね！
豚汁のおかわりもたくさんしました。

中部小PTA主催、中部地区教育推進協議会並びに地域の有志の方に協力をいただき、チャレンジランキング大会を成功裏に終えることができましたことに感謝申し上げます。何度も専門部会で打合せを行い、細かい点にまで配慮していただきましたので、参加者の皆さんが満足して帰られました。アンケート結果は、「初めて参加しましたが県全体から来ていて大きい大会で驚きました。」「現在のチャンピオンの放送があったので挑戦意欲が湧きました。」「初めて参加しましたが、兄弟ともにとっても楽しませていただきました。次回もぜひ参加したいです。」「豚汁もゆず湯もおいしかったです。」など大好評でした。

お願い



中部小学校の冬休みは、12月23日から1月9日までです。この期間は、子どもたちが地域で過ごしますが、見守りをよろしくお願いします。
平成24年も引き続きよろしく願っています。
皆様、よいお年をお迎えください。